

大崎町消防団員募集

火災だけでなく、風水害・地震などの災害時、平常時（避難訓練などの啓発活動）で活動をおこない地域の安全を守っている「大崎町消防団」。

しかし、少子高齢化などの理由により現在団員不足が深刻な問題になっています。

そこで今回は、地域における消防団の重要性や、「大崎町消防団」の活動内容、団員の声などを紹介します。自分たちの町と一緒に守りませんか？

消防団とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、それぞれの市町村に設置された消防機関です。消防署に勤務する隊員とは違い、消防団員は会社員や自営業者として働いており、地域で火災が発生した際などに自宅や職場などから出動し消火活動をおこなうだけでなく、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救援活動、避難誘導など多岐に渡って活動しています。

また平常時においても、各種訓練・点検、啓発活動など地域における消防力・防災力

の向上を常に心がけて活動しています。

消防団の課題

現在、町内において6つの消防分団が設置されています。令和6年5月1日現在で208名の消防団員が所属していますが、定数240名を下回っているのが現状です。その中でも、中央分団、野分分団においては定数より10名の不足になっています。地域について詳しく即時対応可能な団員が不足することで、十分な消防活動をおこなうことができず、地域の安全確保もできない状態になります。

近年では、各分団で女性団員

も増えて活躍も期待されています。普段は様々な仕事をさ
れて忙しい方もそれぞれのライフスタイルに合わせた活動を協力しておこない、私たちの住む地域を守りませんか。

消防団員になるには

① 大崎町に居住、又は勤務するもの

② 年齢18歳以上のもの

〈分団紹介〉

中央分団・大丸分団・菱田分団・中沖分団・
持留分団・野方分団

入団のお問い合わせ

役場総務課 消防防災係（内線 212、213）

各地区の分団で活躍しています

消 防団員の方に誘ってもらい入団しました。団員が日ごろから地域の安全のために訓練・点検をおこなっていることを知り、その一員になれたことをうれしく思います。普段の日常では体験できないことや、新しいことをたくさん経験でき、自分の防災意識も向上しました。活動を通して一緒に地域を盛り上げていきましょう。



大丸分団

下橋 真希さん

（分団員歴：4年）

同 級生に誘われて入団を決めました。消火活動を通して町に貢献していると感じることがやりがいです。また消防団活動では団員とのコミュニケーション・連携をとることが大事だと感じます。消火活動や訓練など大変と感じることもありますが、町に貢献できるのも大きな魅力だと思いますので、是非一緒に自分の町を守りませんか。



中央分団

神田 大輔さん

（分団員歴：4年）